



教育研究部からのお知らせ②

スクールプラン『授業改善に取り組む』
～キャリア教育の観点を取り入れた
児童生徒一人一人に合わせた支援を考える～

清水特別支援学校

教育研究部

H27年10月1日発行

今回は『キャリア教育』についての説明をしました。

キャリア教育とは、その子らしく社会の一員として生活するために必要な力を育てる教育でした。これは、従来から特別支援教育が取り組んできたものであり、**本校の教育目標**である

一人一人の可能性を伸ばし、社会の中でその子らしく生きていく力を育てる

に含まれるものです。

そこに、『キャリア教育の観点を取り入れる』とはどういうことなのでしょうか。

それは

将来に向けて
現段階でどのような力を育てると良いのか
そのためには、今、何をすれば良いのか

という点から、子どもたちへの支援を捉え直すことだと考えています。

これまで本校の子どもたちの目標として挙げてきた主なものを、整理してみました。

人との関わり・集団参加

関心・意欲・態度

意思決定能力

- ・目標を持つ 目標を決める
- ・責任を持つ
(自分の行動を振り返るなど)
- ・条件や制限の中で選ぶ
(制限や結果の受容など)
- ・悩んだり葛藤したりして気持ちを整理する
(好奇心 やる気 挑戦 工夫 再挑戦など)
- ・支援を受けながら答えを出す
(する、しない 行く、行かない
食べる、食べないなど) など

技能・理解

将来設計能力

- ・やる事が分かって準備する
(次のこと 明日のこと 次の学部 卒業後 将来の夢や未来像に向けて必要なことが分かる)
- ・できあがり分かって取り組む
(作業工程 調理・配膳 制作 お手伝いなど)
- ・結果を予測して体をコントロールする
(段差や傾斜への構え 方向転換 排せつ 食事など) など

情報活用能力

- ・役割、制度、時計、金銭の理解と活用
(係や立場、規則、時間やお金の管理など)
- ・自己防衛・危険回避、体内からの刺激への対応
(寒い 熱い 空復 喉が渇く 痛い かゆい だるいなど)
- ・手掛かりを活用した自己選択や行動調整
(予定表、カレンダー、言葉掛け シンボルやマーク、絵や写真 文字) など

このように「将来」をイメージして、目標を考えています。10月21日から行われる保護者懇談会にてお渡しする通知表(前期指導内容表)を、「将来」をイメージしながら、御覧いただきたいと思ひます。

